

栃木県内における病原体サーベイランスの状況

栃木県及び宇都宮市では感染症発生動向調査事業として、病原体サーベイランスを実施しています。

病原体サーベイランスの対象となる疾病は、1類から5類の全数把握疾病(一部の疾患を除く)および5類定点把握疾病(性感染症・薬剤耐性菌感染症を除く)です。5類定点把握疾患は、指定された県内20カ所の病原体定点医療機関(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)で診断された患者の検体を対象としています。

令和6(2024)年9月分

(1) 病原体検出状況一覧(保健環境センター提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	幼児	ヘルパンギーナ	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
2	幼児	手足口病	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
3	幼児	手足口病	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
4	幼児	手足口病	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型 ヒトライノウイルス遺伝子群A(HRV-A20)
5	小学生	ヘルパンギーナ	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
6	幼児	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	咽頭ぬぐい液	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	A群溶血性レンサ球菌T1型
7	60歳代	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	A群溶血性レンサ球菌T型別不能
8	40歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O103 VT1(+) VT2(-)
9	20歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(+) VT2(+)
10	30歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(+) VT2(+)
11	40歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O型別不能 VT1(+) VT2(-)
12	80歳代	CRE感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出 (PCR)、ディスク拡散法	CRE:カルバペネマーゼ非産生株
13	30歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(+) VT2(+)
14	40歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(+) VT2(+)
15	70歳代	CRE感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出 (PCR)、ディスク拡散法	CRE:カルバペネマーゼ非産生株
16	60歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(+) VT2(+)
17	70歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(+) VT2(+)

(2) 病原体検出状況一覧(宇都宮市衛生環境試験所提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	70歳代	EHEC感染症	便	分離培養(人工培地)、抗原検出(凝集反 応)、遺伝子検出(LAMP)	腸管出血性大腸菌O26 VT1(+) VT2(-)
2	50歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出(凝集反 応)、遺伝子検出(LAMP)	腸管出血性大腸菌O26 VT1(+) VT2(-)
3	80歳代	CRE感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出 (PCR)、ディスク拡散法	CRE:カルバペネマーゼ非産生株
4	小学生	EHEC感染症	便	分離培養(人工培地)、抗原検出(凝集反 応)、遺伝子検出(LAMP)	腸管出血性大腸菌O26 VT1(+) VT2(-)
5	幼児	EHEC感染症	便	分離培養(人工培地)、抗原検出(凝集反 応)、遺伝子検出(LAMP)	腸管出血性大腸菌O26 VT1(+) VT2(-)
6	30歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出(凝集反 応)、遺伝子検出(LAMP)	腸管出血性大腸菌O26 VT1(+) VT2(-)